



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行所 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
(0577) 32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ
照らされて

「宗祖親鸞聖人いまさずば」

報恩講に想う

黒萩昌



〔略歴〕
一九五六年生まれ。大谷大
学文学部真宗学科卒業。北
海道教区南第三組法誓寺
住職。北海道教区教学研究
所々長。教師修練指導。

親鸞聖人が大切に伝えてくださったお念仏のみ
教えは、最期の一息まで
限りなく、我が身に目
覚め続けていく仏道で
ありました。「どうか本
当の自分の姿を知って
ほしい」、それだけが如
来の願いです。しかし、
私たちがとって「本当の
自分の姿を知る」という
ことは不可能なことなの
です。自分自身を客観的
に公明正大に見るとい
うことが決してできない
ように、私たちの「いの
ち」そのものがすでに
「私だけではない」、「あ
の人よりはまだ私のほう
がましだ」と自分を誤魔
化す根性が必ず出てきま
す。もしかしたら、私た
ちは自分の本当の姿を知

りたくないのかもしれない
せん。なぜならば「私の
本当の姿」とは、わがま
まで身勝手に自分のため
にしか決して生きたらな
い、罪深く愚かなものだ
からです。
以前、ご門徒のご婦人
が、三番目の子をお腹に
宿したまま亡くなった、
義理のお姉さんの話をし
てくださったことがあり
ました。二歳と四歳、二
人の女の子をのこして亡
くなられた母親を不憫に
思っ、周りの大人たちが
出棺の際に新しいお人
形をお棺の中に入れたと
いうことでした。すると、
その二人の女の子は
お棺にすがって泣いたそ
うです。しかしそれは、
「お母さんとの別れが悲
しくて泣いたのではない

と重ねて歩んできたと思っ
ていました。二歳と四
歳の女の子と何も変わら
ない、ただ古くなっただ
けの私がそこにいまし
た。このような在り方を
仏教では「流転」と言い
ます。
そこに気づくまで、な
ぜひと月もかかったのか
とも思いますが、そこに
「自分の本当の姿」を知
ろうとしない私の自力の
しぶとさ、迷いの深さが
あります。でも如来の本
願に照らされて、「二歳
と四歳の女の子と何も変
わらない私」、そこに立
たせてもらったら本当は
世界は変わるのですよ
う。「しぶとい この頭
が下がったら 浄土の光
は こんなどころに」と
いう榎本栄一さんの一編
の詩が思い起こされます。
江戸の末期まで生きら
れた篤信のお念仏者、田
原のお園さんが「他は知
りませんが、この私一人
のところは仏法が繁盛し
ております」と言われま
す。そして、その後で
「朝から晩まで、あるは
ないは、足るは足らぬ
は、三毒(むさぼりの
心、いかりの心、愚痴の
心)やら五欲(財欲、色
欲、飲食欲、名譽欲、睡
眠欲)やら、それは繁盛
しております」と言われ
ています。私たちの三
毒・五欲にまみれた日常
生活そのものをお園さん

は「仏法繁盛」と言われ
るのです。三毒・五欲に
まみれた生活であればこ
そ、そこに私たちの本性
が顔を出し、いよいよ我
が身の罪の深さと愚かさ
が照らされてくるので
しょう。
親鸞聖人は、日常生活
が聞法の道場であり、三
毒・五欲にまみれた人生
そのままだが仏道という深
い意義を持つものである
ことを、ご自身の生涯に
おいて証明し、私たちに
指し示してくださいまし
た。そこに「いづれの行
もおよびがたき身」であ
る私たちが正々堂々と
歩むことのできる仏道
が、はじめて現実のもの
として明らかにされてき
たのです。

飛騨御坊ボランティア委員会活動報告

『女川のみなさんを飛騨高山へご招待 PartII』
10/9~11 in 高山祭

この度、東日本大震災以降交流を続けている宮城県女川町のみなさんを、「秋の高山祭」にご招待させていただきました。遠方よりはるばる足を運んでくださった方は21名。高山別院に到着されてから、共に本堂で手を合わせ、歓迎セレモニーを行って再会を喜びました。女川のみなさんは、「高山祭に来れるなんて夢にも思わなかった」、「楽しみで昨晩は寝られなかったわ!」などなど興奮気味。9日の宵祭、10日の屋台曳き揃えやからくり奉納を存分に楽しみました。温泉宿での懇親会では、飛騨からの歓迎の催し、女川からの御礼の催しが出るなど、とても感動的な時間を過ごすことができました。

震災から8年、女川の町はすっかりと復興を遂げましたが、この土地に暮らす人々はまだ、それぞれに悲しみ・苦しみを抱えています。「まだ誰にも話せないことがある」と、今なお震災を胸に抱えて懸命に生きておられることを、私たちは忘れてはいけません。今こうして同じ時を生きる私たちは、一つひとつの出会いに感謝し、それぞれの歩みに寄り添い合い、共に生きていきたいと思ひます。ないものを欲しがらるのではなく、あるものを喜ぶ。当たり前から有り難し。ありがとうと感謝しながら・・・



飛騨御坊ボランティア委員会 日野光洋

台風19号により被災された皆さま方に心より御見舞い申しあげます。

大谷婦人会報恩講
日時 11月11日(月)
午後1時から
講師 三島多聞 輪番
会場 高山別院本堂
お斎 12時より(千円)
〔10月〕
26日(土)了宗寺〔莊川町〕
〔11月〕
13日(水)了泉寺〔鉄砲町〕
17日(日)淨願寺〔丹生川町〕
東等寺〔冬頭町〕
詳細は会所のご寺院に
お尋ねください。

別院定例法座

10月28日午後1時 親鸞聖人ご命日
講師 窪田純氏(圓徳寺)
講題 「11月29日」
11月3日午前10時 三日のご坊(報恩講)
講師 三島多聞(別院輪番)
講題 「いのちの願い」

広告枠
残りわずか!

Table with 2 columns: Media Name (媒体名) and Details (掲載サイズ, 発行部数, 配布エリア, 発行日, 広告回数, 期間, 料金(協賛), 枠数, デザイン). Details include 'Hidago Hako', 50,000 copies, Toyouke area, monthly 20th, 10 times a year, 2020 Jan-Dec, 100,000/50,000 yen, 10-20 frames, and consultation required.

☎テレホン法話(0577)(34)2313 ☎10月21日~31日:畑亮徳氏「願徳寺」 ☎11月1日~10日:小原正寛氏「専念寺」 ☎11月11日~20日:廣瀬堪氏「頓乗寺」 FAX相談窓口(0577)3210763

ひだご坊 報恩講

親鸞聖人の教えに
この私が出会うための法要

定例法座・法話(午後1時から)

○10月28日(月)午後1時:窪田純氏「圓徳寺」

○11月3日(日)午前10時:三島多聞氏「高山別院輪番」

○11月11日(月)午後1時:三島多聞「高山別院輪番」

どなたさまでもお参りください。

11月 1日 (金)	午後1時半	初逮夜 おんがくほうよう 音楽法要 法話 岩佐幾代氏
	午後7時	ご坊報恩講の夕べ
2日 (土)	午前7時	晨朝(お朝事) 法話 窪田純氏
	午前10時	日中 ぜんびもん 全飛門徒 ぶつこしゃついちゆうえ 物故者追弔会 法話 白尾公信氏
	午後1時半	大逮夜 おおたいや 同朋唱和 どうほうしやうわ 同朋唱和 みしまきよまる 法話 三島清圓氏
	午後6時	御伝鈔拝読 第38回 別院真宗公開講座 講師 藤場芳子氏
3日 (日)	午前7時	晨朝(お朝事) 法話 澤邊恵亮氏
	午前10時	帰敬式(8時半) ほうとくえ 報徳会 さいこんえいたいきやう 再建永代経 子ども作品展表彰式 法話 三島多聞高山別院輪番
	午後1時半	満日中 まんにちちゆう

ご坊報恩講の夕べ

ドキュメンタリー映画

がんと生きる 言葉の処方箋

上映会、野澤監督トークイベント

がんに罹っても明るく生きる人々がいる。そこには心を癒やす言葉の処方箋が溢れていた。

【あらすじ】 順天堂大学名誉教授の樋野先生が提唱する医学と哲学を結びつけた「がん哲学外来」。がん患者の苦しみを言葉で癒す「言葉の処方箋」を処方する「がん哲学外来」から生まれた「がん哲学外来メディカル・カフェ」を舞台にしたドキュメンタリー。

「メディカル・カフェ」は、患者達が対話し、苦しみや悩みを分かち合い、病気と向き合う場として生まれた交流の場。がんにかかっても明るく生きる4人の姿を通して、がんとともに生きる人への勇気や人生の希望を見出していく。がんを患っている方々やその家族に限らず、全ての病気や悩みを抱える人々への「言葉の処方箋」が散りばめられている。

日時 11月1日(金) 19:00~21:00

会場 高山別院本堂(問い合わせ32-0688)

料金 一般500円、学生100円(前売りチケット有)

後援 NPO法人あんきや、飛騨高山がんサークルOwls



参拝送迎バス

11月2日・3日には別院報恩講参拝のためバスを運行します。乗車場所・時間等のお問い合わせ、お申し込みはお手次のお寺へお願いします。

【2日】白川村、荘川町、久々野町、一之宮町、清見町、下之切町、山田町

【3日】飛騨市、国府町、朝日町、丹生川町、下呂市

2019年度 第38回真宗公開講座(全3回)

南無阿弥陀仏の教えをいただき、そこから開かれる世界を生きる者のことを「真宗門徒」といいます。三人のご講師から、真宗門徒についてお話をいただきます。見落としてきた男女の関係とは? 大切にされてきた門徒の生活スタイルとは?

教えをとおして、私たちの「常識」「世間」について考えます。お誘いあわせてご参加ください。

テーマ「真宗門徒!」

第1回 女と男のナムアマダブツpart2
虹を見つめて

日時 2019年11月2日(土) 午後6時
(『御伝鈔』後)

講師 藤場芳子氏(金沢教区常讃寺
副住職・本山女性室スタッフ)

子ども作品展

日時 10月22日(火)~11月3日(日)

会場 高山別院本堂

表彰 11月3日(日) 午前10時

報恩講ブックフェア

日時 10月11日(金)~11月11日(月)

会場 ブックス・アイ・オー(岡本町)

田近書店(本町店・三福寺店)

同朋唱和のお勤め

「同朋唱和」とは正信偈・念仏・和讃を僧侶と門徒のへだてなく、皆でいっしょに声を出してお勤めすることをいいます。今年5月に厳修された親鸞聖人御遠忌法要では、この同朋唱和でお勤めするお座がありました。この報恩講でも2日の大逮夜に、真四句目下五洵でお勤めをしますので、『同朋唱和勤行集』(緑本)をお持ちの方は当日ご持参ください。いっしょにお勤めしましょう!

お斎 庫裡ホール

期日 11月2日(土)・3日(日) 昼

お斎料 1,500円

ご坊名物大根汁(無料)

期日 11月1日(金)~3日(日)

主催 高山2組門徒会

フリーマーケット

期日 11月1日(金)~3日(日)

抹茶接待(無料) 庫裡御殿

日時 11月1日(金)

午前11時~午後3時

主催 二木社中

お浚え

報恩講翌日のお朝事です。ぜひお参りください。

日時 11月4日(月) 午前7時~